

観世流能
安達原

「けっして見るな」

…と言われるからこそ、見たくなる。

安達ヶ原に伝わる鬼女伝説を

二流三家で三週にわたってリレー上演。

能楽堂リレー公演 2017

② 矢来公演

11月16日(木) 十九時開演 (十八時開場)

観世流 観世喜正 矢来能楽堂

主催／能楽堂ネットワーク協議会 協賛／一般財団法人衆我財団

全席指定

台敷限定
タブレット貸出あり

能楽堂リレー公演 2017

三つの能楽堂で同演目を三週にわたりリレー公演！初心者、海外からの方も観劇しやすい公演です。

- ① 11月9日(木) 宝生流 辰巳満次郎 宝生能楽堂 イヤホンガイド貸出あり！
- ② 11月16日(木) 観世流 観世喜正 矢来能楽堂 タブレット貸出あり！
- ③ 11月24日(金) 観世流 角当直隆 梅若能楽学院会館 イヤホンガイド貸出あり！

全公演共通 19:00 開演 (18:00 開場) / チケット：全席 4,000 円

※チケット・公演に関するお問合せは、各公演別にそれぞれの取扱い先にご連絡ください

ほうしやう
① 宝生公演 宝生流「黒塚」 シテ 辰巳満次郎 **全席自由**

2017年11月9日(木) 宝生能楽堂 文京区本郷 1-5-9

(チケット取扱い・お問合せ)

宝生能楽堂 TEL 03-3811-4843 (10:00~17:00 不定休) / WEB <http://www.hosho.or.jp/nohgakudo/>

やらい
② 矢来公演 観世流「安達原」 シテ 観世喜正 **全席指定** 台数限定・タブレット貸出あり

2017年11月16日(木) 矢来能楽堂 新宿区矢来町 60 番地

- ・東京メトロ東西線「神楽坂」2番(矢来口) 徒歩2分
- ・都営大江戸線「牛込神楽坂」A1出口 徒歩5分

(チケット取扱い・お問合せ)

観世九阜会

《チケットオンラインサービス》Confetti (カンフェティ)

■ TEL 03-3268-7311 (10:00~17:00 不定休 / 九阜会事務所)

■ WEB http://confetti-web.com/noh_theater

■ WEB <http://yarai-nohgakudo.com/>

■ TEL 0120-240-540 (平日 10:00~18:00 / カンフェティチケットセンター)

うめわか
③ 梅若公演 観世流「安達原」 シテ 角当直隆 **全席自由**

2017年11月24日(金) 梅若能楽学院会館 中野区東中野 2-6-14

(チケット取扱い・お問合せ)

公益財団法人梅若会 TEL 03-3363-7748 (10:00~17:00 不定休) / FAX 03-3363-7749

タブレット(②)、イヤホンガイド(①・③)の貸し出しがございます。詳細はお問合せください。

■ タブレットは舞台進行に沿って詞章(セリフ)や舞台解説がご覧になれます。(矢来公演・台数限定)

■ イヤホンガイドは舞台進行に沿って演目の解説などがお聞きいただけます。(宝生公演・梅若公演)

◎ いずれも貸し出しにあたり、当日受付にて簡単な手続きをしていただきます。

② 矢来公演

11月16日(木) 19時開演

矢来能楽堂

解説 観世喜正

【観世流】

能「安達原」

里女・鬼女 観世喜正

山伏 野口能弘

共山伏 野口琢弘

能力 山本則孝

笛 栗林祐輔

小鼓 田邊恭資

大鼓 佃良太郎

太鼓 大川典良

後見 小玉三郎

奥川恒治

弘田裕一

中所宜夫

鈴木啓吾

永島充

桑田貴志

河井美紀

能「安達原」(「黒塚」) あらすじ

熊野那智大社の山伏、阿闍梨祐慶(あじやりゆうけい)一行が陸奥国安達原にやって来る。辺りは人里さびしい荒野。折しも日が暮れてしまったため、一行は一軒のあばら家のみつけ、そこに住む女主人に今宵の宿を借りたいと願い出る。

室内へ入るとそこに見慣れぬ道具があったので祐慶が尋ねると、女は「これは杵かせ輪といって糸を取る道具です」と答え、旅のなぐさみにと歌を唄いながら糸繰りの様子を見せる。女の唄に一行は聴き入るうちに夜も更けて寒くなったので女が山に薪を取りに行くと言いつつ、その際、山伏達に「留守の間、決して私の寢室を覗かないように」と念を押して出ていく。《中入》

残された山伏一行は眠りにつくが、同行していた能力(間狂言)は、見るなといわれた寢室が気になって眠れない。そしてついに祐慶が寝入ったすきに寢室の中を覗くと、そこには人間の死骸が山と積み重ねられていた。一行は、さては、これこそ古歌にも詠まれた、安達原の人喰い鬼の住みかであったかと気づき、大急ぎで逃げ出す。

山から戻った女は、自分の正体が見破られたことを知り、鬼の本性をあらわにし、嵐を呼び、雷をとどろかせて一行を追いかけ襲いかかる。しかし、もはやこれまでと祐慶たちが経を唱えると、神力を授かり、鬼女は祈り伏せられ力尽き夜嵐に紛れて退散する。

観世流では「安達原」、宝生流では「黒塚」という曲名で演じられています。